

木造公共建築物と国産材家具が グッドデザイン金賞を受賞

2014年度グッドデザイン金賞に、秋田中央交通株式会社がJR秋田駅西口に木造により整備した「秋田駅西口バスターミナル」と、スギ圧縮木材を活用した飛騨産業株式会社の「ダイニングチェア」[KISARAGI]の2点の木材を利用したデザインが選ばれました。



秋田駅西口バスターミナル(全景)



(写真提供：シブヤスタジオ)

グッドデザイン賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザイン推奨制度で、Gマークで知られています。今年には審査対象3601件の中から大賞1件と金賞19件等の特別賞が選定されています。秋田駅西口バスターミナルもスギ圧縮木材を活用したダイニングチェアも大賞候補9点のうちに選定されましたが、惜しくも金賞となりませんでした。

「秋田駅西口バスターミナル」は、秋田市の玄関口にふさわしいバスターミナルとして、「秋田杉」をふんだんに使い、県内外の多くの利用者にとって快適な空間を提供しています。「秋田杉」による2本の柱で屋根を支える木構造で、壁面の格子が連続するインパクトのあるデザインとなっています。更に壁面の一部には、竿燈やかまくらなど秋田の祭りを表現した伝統的な組子細工が設置されています。ベンチに

「ダイニングチェア」は、世界で初めてスギ圧縮材を活用したダイニングチェアです。スギ圧縮材は、独自の圧縮技術によってスギを家具用途に耐えられる強度に加工し、柱目方向を表面に表すことにより、直線的な歪みによる高級感あふれる美観を呈しています。カービング、接合、座彫り、口クロナどの木工技術を駆使した加工は、繊細かつ洗練されたデザインを感じさせるもの高い評価を得ています。

「秋田杉」の無垢材が使われるなど県産材をPRするものとなっています。



世界で初めてスギ圧縮材を活用したダイニングチェア[KISARAGI] (写真提供：飛騨産業)

IFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2014が開催されました



アトリウム中央会場の展示

11月26日から28日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)においてIFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2014(主催：(一社)日本家具産業振興会、メサゴ・メッセフランクフルト(株)、後援：経済産業省、外務省、林野庁ほか)が開催されました。

当イベントは、「IFFT(東京国際家具見本市)」にデザインを切り口としたインテリア関連国際見本市「インテリア ライフスタイル」の要素を融合させたインテリアの総合見本市です。今回は旭川、飛騨など、国内の主要な家具産地からの出展をはじめ、国内外の家具・木工の産地・メーカーが参加しました。また、静岡や和歌山など国内の各産地の地域材を用いた家具・木工に積極的に取り組むメーカーからの出展も多数見られました。



今井林野庁長官による視察